

令和2年

状況:うさぎ組廊下から園庭に身を乗り出し、鳥を見ていた。部屋に戻ろうとすると本児が足の痛みを訴える。見ると左足の人差し指(爪のあたり)から出血していた。ティッシュで止血をし、絆創膏を貼って対応をした。その後はクラスの保育士に申し送りをし、様子を見てもらう。

保護者:「こんなにひどいケガで日中電話連絡があっても良かったのでは？今からだと救急に行くしかない。緊急事態宣言(コロナウイルス感染症)が出ている状況の中救急に行くのは怖い。早めに連絡があれば救急に行かなくても済んだのに。このケガの状態だと子どもずっと痛みを我慢していたかもしれない。」

父親から家庭保育の連絡がありその際に状況を確認すると爪が剥がれかけているとの事。

改善内容

- ・対応した保育士がケガを安易に見てしまった。小さな怪我でも報告書と一緒にすぐに園長、副園長へ報告をする。
- ・職員に周知するため、事故報告の連絡簿を作り職員が確認できるようにしていく。同時に事故報告書も確認できるように別の書類とは分けておく。
- ・1日2回程度(目安)に園長又は副園長がクラスを回りクラスの状況確認をしていく。クラス担任は積極的に報告、相談をしていく。

貴重なご意見ありがとうございました。

状況:お友達に手を出すなどの行動があった際にその場面だけを記載し、保育者の対応や前後の状況が分からない。

保護者:「おたより帳の内容が一方的である。」直接記入した先生と話がしたいとの内容。

以前にもこのような一方的な内容の記載がされていた。

改善内容:今回のおたより帳の内容を確認すると児のとった行動に対して保育者の気持ちだけが一方的に伝えられている内容になっていた。

児はどうしてそう言う行動を取ったのか？何がそうさせたのか？またその時の保育者の対応は？等全く背景が見えず保護者に対し不信感を与えてしまった。

・気になる行動や、お互い困っている事は口頭で行うべき。文書だとうまく伝わらない。また、誤解を招く事もある。おたより帳にはこういった内容は残すべきではない。

・今後、保護者と積極的に向き合いコミュニケーションを取るよう心掛けていく。又児に対してもクラスで連携をとり、丁寧に関わり信頼関係を築いていく。

貴重なご意見ありがとうございました。

状況:他児とトラブルから噛まれてしまう。同日にお迎えに来た祖母へ報告する。

保護者:保育士の対応に納得がいけない。その他にも普段から気になる事があるよう。

いつも衣服が裏返しのまま入っている。全く畳まれていない！ちゃんとこの子のこと見ていますか？また、タオルなどが入っていない事も多くあります。とても困ります。

改善内容:後日担任と面談を行う。ケガに対しての説明を行い、納得して頂いた。4月から入園し、一つひとつが始めてで本人にもその都度つたえている。汚れ物の畳方、汚れ物は袋に入れる、自分のものを確認する等。今では自分でできることが増え、見守り、任せているところであり、時々汚れ物をそのまま袋に詰め込んだり、お友達の物を持って帰ってしまったり、保育園に忘れてしまうこともあるかもしれない事を伝えた。保育者も配慮が足りなかった面もあった事を反省し、今後の対応を改め、丁寧に関わっていく事を伝えた。

貴重なご意見ありがとうございました。